

美術館
だより

Vol.168

3つのキーワードで探る
植田正治の世界

12月23日(金)まで開催中

今回の展覧会では、植田正治の作品を3つのキーワード、「風景」「人物」「静物」で探ります。初期の1930年代から、植田が70歳をこえて撮影した作品まで、それぞれに、その特徴とその流れを概観する企画です。

「風景の風は、吹き抜ける風」と語り、生涯にわたり山陰の風景と風土を愛し続けた植田は、単に「美しい」ではなく、自身だけの「風景」にこだわり続けてきた作家です。一方、植田の代表作の多くには、「人物」が登場します。特に演出写真と呼ばれる作品の数々は、植田のオリジナリティを語る上では欠かせません。人物をまるでオブジェのように扱いつつ、時には、被写体のカメラに対する自然の反応を捉えたりと、「人物」においても植田の旺盛な実験精神が感じられます。さらに、砂丘のファッション写真は、植田調、植田スタイルが存分に発揮された作品群でしょう。静物写真は、被写体を作家が自由に演出できるという意味において、他に比べて作家の表現意思や個性などがストレートに感じられるジャンルです。植田自身も、初期から晩年までさまざまに取り組み、多彩なイメージを遺しています。特に、晩年のカラーのイメージの数々は、植田らしい自由な発想と表現が特徴的です。

写真には、さまざまなジャンルがあり、それぞれに独自のテクニックや経験、ノウハウ、さらには機材が必要とされることも多々あります。自身をアマチュアと語る植田は、特定のジャンルを極めたタイプの写真家ではありませんが、植田の好奇心の広がりにはまさに無限です。今回の展示を通して、どのジャンルの写真にも必ず存在する「植田らしさ」を確認していただけるでしょう。



シリーズ〈重層〉より 1959年

1階D展示室 展示のお知らせ

入館料：無料 ただし 2・3階展示室の観覧は有料

- ★サークルスイング写真展 — 9月21日(水)～9月26日(月)
- ★第19回植田正治写真美術館 友の会写真展 — 9月28日(水)～10月10日(月・祝)
- ★ペンタックスリコーファミリークラブ 山陰支部写真展 — 10月12日(水)～10月24日(月)
- ★第31回鳥取県高等学校写真展 — 10月26日(水)～11月7日(月)
- ★第23回植田正治写真美術館フォトコンテスト入賞・入選作品展示 — 11月9日(水)～12月5日(月)
- ★第29回伯耆町写真展 — 11月9日(水)～12月5日(月)
- ★フォースクール写真展 — 12月7日(水)～12月23日(金)

第29回 伯耆町写真展作品募集

- 対象者 伯耆町在住者、町内勤務者
- テーマ 自由
- 作品サイズ モノクロ、カラーともにA4サイズ
- 申込期限 10月19日(水) 必着
- 展示期間 11月9日(水)から12月5日(月)
- 入賞 最優秀賞(1名)、優秀賞(2名)

応募
お待ちしております

詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください
美術館へお問い合わせください

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館
TEL:0859-39-8000

メール：bijyutsukan@houki-town.jp

ホームページ：https://www.houki-town.jp/ueda/

■開館時間／10:00～17:00 (最終入館は16:30)

■休館日／火曜日(祝日の場合は翌日)

町民の方は入館無料です

ご来館の際は、町民無料招待券、
または免許証など住所のわかるものを提示ください。

町民無料招待券

— 本券を切り取ってご利用ください —

3つのキーワードで探る
植田正治の世界

これは見本です

※本券1枚につき1世帯様無料でご利用いただけます。
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

伯耆町立植田正治写真美術館
伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000